

第61回

全国保育問題研究集会
京都集会



はじまる一歩

～京都保育問題研究会～



感想特集

まだまだ続きますよー♡

身体づくり
運動

京都: 安田 千尋さんより

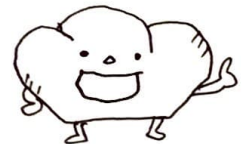
この提案も面白く興味がありました。金矢棒の実践では子どもがやりたいと思った時に具体的な援助をすることで楽しめるようになったと言われていて、そっくり丁寧にもあんな子ども夢中になっていたのだらうなと感じました。また、友だちに共感してもらって前向きになれるという言葉も印象に残りました。保育の中で気持ちの受け止めや共感を大切にされたことが子ども同士の関係に繋がったのはよいと思います。保育者が子どもたちに教えるだけでなく一緒にやるという姿勢や言葉がたも勉強になりました。

文学

東京: 高見亮平さんより

東京の部会で事前に提案の読み合わせもしていたので話しを聞きながら謎が解けていくように楽しかったです！でも謎が解けると新たな疑問や意見も湧き出てくるので、それは明日の分科会内で発言しながら深めていきたいな、と楽しみも持てて初日でした！

京都サイコー!!



京都豆フキ

☆パン屋さん日本一☆
パン屋さんの車多すぎ!

府大の近くにも
3軒もの有名パン屋が

障害児保育

仙台: 西名さんより

その子好きなものを探りながら、視覚的に入りやすい、冷たい感触虫が心地よい等、その子の特徴に合わせた援助が、ひたひたはまるこ、とんぼ友だちとの関わりや、色々なこへの興味を広げ、行くことの実感ほした。周りの子どももその様子をちゃんとわかっていて、その子の言葉では表わせない思いをおしほかろうとしたり共感する様子がまさに「育ち合い」だと思えました。

仙台: 高山 理沙さんより

障害があるふしに関わらず、目で見てわかる支援というのは大切なことだと思いますし、この実践においても保育者の連携が大切だと再確認しました。自分を認めてもらったりありのままを受け入れてもらうこと、大事にしてもらいたいと思うのは大人も子どもも同じことで、自分を出すのは受け入れてもらえるかという不安もあるので、時間がかかっても相手をつかろうとする向き合おうとする姿が大切だと学ぶことができました。また、保護者の声がとても切実なものだと感じ、困っているのは子どもだけではないと家庭支援の充実が子どもと保育をより豊かにするものだと感じたので、話を聞いた後、保育団の姿を伝えていくことを決めたと思っています。

東京: 濱本昌子さんより

全ての実践をたっぷり聞けたのでとてもありがたかったです。提案を聞く時は画面オフで「いい」と言われたので5本の実践をゆくり聞けました。そして、全て聞いた上で「グループを替えるのは本当にうれしい。ネットベースで決めるのは難しいと思います。

仙台: 西名さんより

初めから2つに分けた方が良かったのでは?と感じました。

乳幼児期の平和教育

中継: ウィンフィールドさんより

提案に下さった方々、またその日の取り組み、実践がとてもすばらしかったです。またコロナ禍、戦争暴発など見るに堪えない事が起きている中で「乳幼児期の平和教育」を考えるのはとても大事で、また大人がしっかりと関心を持ち、勉強し合うことがさらに重要だということを再確認させていただき、科会となりました。

2022 祈願祭

月同掛けなどか文化見本の山鉾。

今年は進行決定です

